

TEISO TOYOKA NEWS

2015年5月号 VOL.76

企画・発行：(株)テイソトヨカ 四日市技術研究所
掲載している記事の無断使用を禁じます。〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info@teisotoyoka.com

ノミのようなハエ ノミバエ

食品や医薬品、包装資材など各種製造工場に存在する昆虫類は実に多彩ですが、一般には外部侵入型、内部発生型ともにハエ目の昆虫(いわゆるコバエ)が最も多いです。製造工場では昆虫モニタリングを実施すると、ほぼ毎回ユスリカ、クロバネキノコバエ、タマバエ、チヨウバエ、ノミバエなどのコバエが上位にランキングされます。防御力(バリアー性)が高く、清掃がしっかりと行われている工場であってもコバエが大量に存在し、問題となっていることがあります。今回は、5月頃から多くなるノミバエについて説明します。

ノミバエの成虫は体長1~5mmで、太い腿節(太股にあたる部分)を持つことが大きな特徴です(写真1)。工場内では窓ガラスや壁、作業台の上を滑るように素早く歩行(飛翔)しているのをよく見かけます。時々ノミバエはノミのようにびよんびよん跳躍すると説明されますが、それは間違いです。形態はノミに似ていなくもないですが、跳(飛)び方はちょっと違います。

幼虫は腐敗した動植物質から発生します。微小なので少量の有機質で成虫となり、例えばゴキブリ一匹の死骸からも発生できます。また、床や壁と接した箇所(機械の脚や作業台など)やネジの隙間などにわずかに残った有機物から発生することがありますが、通常は、排水溝やピットなどウェットな場所から発生し、活動することが多いです。

屋外で普通に見られますが、非常に小さな隙間からも屋内に侵入します。餌が豊富で温度が一定に保たれた工場内では成長速度も速く、多発することが多いため、異物混入事故を引き起こしやすい昆虫の一つと言えます。

成虫は光によく誘引されます。ライトトラップでノミバエだけが異常に捕獲された場合は、工場の内部で発生している可能性が高いです。たくさん捕獲が見られたライトトラップの周辺に発生源があるかもしれません。(T.S.)



写真1. オオキモンノミバエ成虫

今月のオススメ① フェロモントラップ

初夏となり、昆虫の活動も一段と活発になってきました。一般に貯穀害虫の成虫は、4、5月頃から発生が目立ってきます。貯穀害虫や食品害虫用のモニタリングは万全でしょうか？大好評のトリオスシリーズにコクゾウ用が新たに加わりました。貯穀害虫が大発生する前に、その発生状況や分布をモニターし、ぜひ防虫対策に役立ててください！

ガチョン

ノシメダラメイガ用・チャマダラメイガ用・
ガイマイツツリガ用

メイガ類の行動パターンの観察結果をもとに開発したコンパクトで使用しやすいトラップです。以前我が家に大発生したノシメダラメイガもこれで完全に駆除しました。

セリコ®

タバコシバンムシ用



世界100以上の国/地域に輸出されており、性能は世界的に評価されています。今年ももうタバコシバンムシ成虫が出始めました。ご購入はお早めに！はっきり言ってめちゃくちゃ捕れますよ！

ハイレシス®

ジンサンシバンムシ用・
ヒメマルカツオブシムシ用

対象害虫の習性を徹底研究し、対象害虫によく適合したトラップ形状や粘着剤を採用しています。お勧めの一品です。

トリオス®

コクヌストモドキ用・ヒラタコヌストモドキ用・
コナガシクイ用・ノコギリヒラタムシ用・
カクムネヒラタムシ用・ヒメアカカツオブシムシ用※
コクゾウ用 New

ルアー(誘引剤)の種類を変えるだけで、多くの徘徊性貯穀害虫を対象としたモニタリング用資材として利用できます。また捕獲方法が粘着式であるため操作性に優れています。

※トリオス「ヒメアカカツオブシムシ」を中国向け精米の植物検疫用として使用する場合は、お手数をおかけしますが弊社もしくは製造元である富士フレイバー株式会社までご確認ください。

自然の復元力 Vol. 57

5月の連休が過ぎましたが、皆様におかれましては有意義な連休を過ごされたことと存じます。いよいよ蚊のシーズン到来です。デング熱などの蚊媒介性感染症が蔓延しないように早期平常時対策の徹底を願っております。さて、今回はヒトスジシマカの移動活動距離について述べたいと思います。

(4) デング熱媒介蚊の活動移動距離

ヒトスジシマカの通常の活動移動範囲は、人囀法による8分間採集の結果から50m～100m程度とされています。アカイエカが2km程度、コガタアカイエカが20km～40km、ハマダラカは数10km飛翔すると言われていいますので、それらと比較するとヒトスジシマカの活動はごく狭い範囲であることが分かります。また、ヒトスジシマカがこのように僅かな距離しか飛翔してないのは、発生源と吸血源が同じ場所に共存していることを物語っています。

ヒトスジシマカが小水系を発生源に選んだことは、種の維持の上ではリスクを伴います。と言うのは、小水系に産卵すると、天候によっては雨が降らずに干上がってしまい、幼虫が死んでしまうからです。そこで、卵が乾燥に耐える特性を獲得したと考えられます。また、飛翔活動範囲が狭いことは、その場に生活する動物を待ち伏せて、吸血し、近くの水系に産卵していることが分かります。言い換えれば、ヒトスジシマカが発生するところは、小水系が無数にあり、また吸血源は定着している動物、あるいはその場所へ侵入してくる動物と考え、飛翔活動距離は短距離で構わないと考えられます。勿論、強風に乗ったり、すでに産卵されている古タイヤ、缶、瓶などが遠くへ移動する場合があります。なお、ヒトスジシマカは人嗜好性の蚊ですが、ヒトスジシマカの血液を調べた最近の研究結果では、ヒト以外にイヌ、ネコ、ネズミ、両生類、カモ、スズメなどの血液を吸っていることが明らかになりました。

ところで、一般に成虫調査にはライトトラップによる方法がよく使われています。ライトトラップによる成虫調査では、ライトトラップに併設してドライアイス吊るすことがよく行われます。ライトトラップの光(豆電灯やブラックライト)とドライアイスから放散される炭酸ガスでメス蚊を誘引させ、捕集しようとするものです。蚊は一般的に夜行性ですが、ヒトスジシマカは昼行性で、特に明け方や夕暮れに活動しますので、ヒトスジシマカを捕獲するためには、日中のドライアイスによる誘引は不可欠です。また、米国では蚊防除用にモスキート・マグネットという機器が開発されています。この機器はLPGを燃焼して発生した炭酸ガスと誘引剤オクテノールを装着して連続的にメス蚊を捕集する成虫捕集用の機器です。このようなメス成虫捕獲器によるヒトスジシマカの発生動態を調査するとオス蚊もトラップされるケースが多くみられます。その理由としては、発生源が近くに存在すること、オス蚊はメス蚊よりも先に羽化し、交尾するため後から羽化してくるメス蚊を待ち伏せていること、などが挙げられます。従って、メス蚊を捕獲する際にメス蚊にアタックしてきたオス蚊も捕獲してしまったことに他なりません。オス蚊は吸血しませんから炭酸ガスなどには誘引されませんので、オス蚊が捕獲されるのはメス蚊が原因であるのは間違いありません。(つづく) (Sin)

今月のオススメ② 異物混入・不快害虫・飛来昆虫対策の強い味方！ ウルトラベープ PRO1.8

今回ご紹介するのは、不快害虫・飛来昆虫対策に有効な電池式の業務用不快害虫駆除器「ウルトラベープ PRO1.8」です(以下ウルトラベープ)。このウルトラベープは、従来の業務用不快害虫駆除器とは異なり、配線不要な電池式であるので、様々な場所に設置することが可能です。

ウルトラベープの有効成分はピレスロイド系のメフルトリンで、熱や火を使わないので臭いや煙が出ず、安心してお使いいただけます。電池をセットすれば1500時間(約2か月間)もの連続使用が可能です。また、15時間ON/9時間OFFで運転する「タイマー付き」の機能があり、この場合だと約3か月間使用可能となります。さらに、器具外装は風雨に強く、強度が高いうえ、光沢や高級感のある仕上がりでお店のイメージを損ないません。お店や工場で害虫にお困りの方は、是非一度ご検討されてはいかがでしょうか。



★★ウルトラベープ PRO1.8に関するお問い合わせはテイソートヨカ(TEL: 052-891-8311)まで！★★



Eco Friendly Pest Management

自然にやさしい総合的有害生物管理

株式会社テイソートヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析

有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info@teisotoyoka.com

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並 2 丁目 334 番地の 2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市中村区千成通 4 丁目 18 番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小熊町島 4 丁目 61 番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町タ 47 番地 1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
富山営業所	〒939-8261	富山県富山市萩原 42 番地 1	TEL 076-481-6474	FAX 076-481-6471
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中 2 丁目 1 番 7 号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜 4005 番地 1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430